

哲学歴史学科 日本史コース

昭和初期の大阪における「医療の社会化」の展開と実態

―無産者医療運動と都市救療事業の二側面から―

学 部 文学部

卒業年度 平成三〇年度

学籍番号 A14LA018

いのもと ほのか

井ノ元 ほのか

目次

はじめに	1
第一章 一九二〇年代～三〇年代前半における医療の一般的状況	
― 「医療の社会化」の前提―	17
第一節 医療費の状況	17
第一項 医師開業免許制度の登場	17
第二項 医学博士の登場及び普及による医療費の増額	19
第二節 疾病や医師数及び病院数の状況	21
第一項 疾病の概況	22
第二項 十種伝染病の罹患率及び致死率	23
第三項 医師及び病院の量的把握	25
第三節 大阪における医療の状況	28
第二章 日本無産者医療運動	34
第一節 日本無産者医療同盟の創立過程	34
第一項 山本宣治暗殺事件の衝撃	34
第二項 無産者病院設立発起人会の結成	36
第三項 「大崎」無産者診療所の開設と活動	38

第四項	無産者病院設立実行委員会の組織変更―全国的組織へ―	39
第五項	日本無産者医療同盟の結成	41
第二節	日本無産者医療同盟の立場と特質	42
第三節	日本労農救援会準備会の結成と解消	45
第一項	日本労農救援会準備会の結成と役割	45
第二項	各プロレタリア団体との合同問題	47
第三項	日本労農救援会準備会への解消	50
第三章	大阪無産者医療運動	55
第一節	日本無産者医療同盟大阪支部の創立過程	55
第一項	医療社会化連盟発起人会の結成	55
第二項	大阪無産者病院設立発起人会の結成	56
第三項	大阪（西野田）無産者診療所	58
第四項	三島無産者診療所	61
第五項	大阪朝鮮無産者診療所と西浜民衆診療所	62
第六項	そのほか大阪における無産者診療所	64
第二節	日本無産者医療同盟大阪支部の立場と特質	67
第一項	無産者病院設立実行委員会の全国的組織への脱皮	67
第二項	第一回大阪支部大会	68
第三項	日本労農救援会準備会への解消	69

第四項	新興医師連盟の同盟への解消	72
第三節	大阪都市社会事業や医師一般及び他診療機関に対する態度	77
第四章	大阪における救療事業	83
第一節	大阪市における救療事業	83
第一項	大阪市の社会事業及び社会施設の特質	83
第二項	大阪市内の「社会的」診療機関の設立状況	85
第三項	大阪市内の「社会的」診療機関の診療実態	87
第二節	方面委員による保健救療活動	90
第一項	方面委員自身の保健救療活動に対する認識	90
第二項	方面委員による保健救療活動の認識	92
第三項	方面委員による保健救療活動の事例	93
第三節	社会事業団体、無産政党、医師会による救療事業	100
第一項	社会事業団体による救療事業	100
第二項	無産政党による救療事業	103
第三項	医師会報酬規程撤廃の可能性の萌芽	106
第四項	その他の無料あるいは軽費診療の事例	108
第五章	大阪無産者医療運動と救療事業の関係	111
第一節	大阪無産者医療運動と社会事業の理論上の接点	111

第二節	大阪無産者医療運動の担い手と救療事業	115
第二項	大阪無産者医療運動の担い手	115
第二項	大阪無産者医療運動の時期区分	119
第三節	大阪無産者医療運動と救療事業の接点の個別的事例	128
おわりに		134
注		141
史料編		
図表・グラフ編		